

地域商店街活性化法 認定計画の詳細(北海道経済産業局管内)

平成24年4月13日

地域	商店街	計画期間	事業実施商店街の状況	地域住民のニーズ	事業概要
札幌市	発寒北商店街振興組合	3年	JRの駅や小学校に隣接し、食品スーパーの出店やマンション建設により、来街者の人口増加が見込まれる。商店街は地域住民と一体となった活動に取り組んでいる	コミュニティカフェに子育て機能、子どもが遊べる場や学べる場、住民同士のコミュニケーション円滑化	「20年後もくらしたいハツキタ」をコンセプトに、地域住民から要望があった、子供が安心して遊べる場と、子育て世代の主婦層がくつろげる機能を既存施設に付加する。また、地域の様々な関係者が相互に経済的・社会的役割を担うため、商店主や地域住民による地域塾や、子育て世代の主婦層によるチャレンジショップ事業を実施する。
室蘭市	なかじま商店街振興組合、中島中央商店街振興組合、シャンシャン共和国商店街振興組合、中島西口商店街振興組合	3年	4つの商店街が隣接し、JRやバス等の交通の結節点であり、学生や病院への通院者等の来街者は多い。コミュニティカフェを連携して運営するなど、商店街間の結束は強い	商店街の店舗情報、個性的・新商品の充実	4つの商店街が同一のコンセプトに基づき、「食」×「健康」マップ作成や地域の魅力発見ツアー実施など、利用者目線での情報を発信することで回遊性を高める。また、住民から要望があった個性的・新しい商品を充実させるための研修を行い、各店舗において季節や流行に沿った商品情報について統一感を持って発信する。
釧路市	釧路第一商店街振興組合	3年	空き店舗の増加が商店街の魅力の低下を招き来街者は減少しているものの、釧路市の中心部でJRやバス等の交通の結節点に位置し、通院や買い物を目的とした来街者が多い	地域住民が集会・交流できる場の確保、地場産品の購入機会増大	空き店舗を活用したコミュニティホールを整備し、「おいしい珈琲の淹れ方講座」や「お年寄りイキイキ化粧教室」など店舗の魅力を活かす専門店出張イベントや、農業・漁業団体と連携した地元産農水産物の産直イベントを実施する。また、来街者の安全・安心なまちづくりのため、災害時の避難場所を確保する。
江別市	野幌商店街振興組合	5年	野幌駅から国道12号線までの道道に面した商店街。郊外型大型店の出店により来街者が減少している一方、近隣に4つの大学があり若者の居住者は多い	地元大学の実践教育現場としての商店街活用、地域ならではのオリジナルブランドの開発	住民が望む野幌商店街でしか食べられないオリジナルブランドを地域の学生が開発し、住民を巻き込んだ試食会等を通じて評価・改善を行う。また、コミュニティスペースを利用し、住民の関心が高い健康や地域の歴史文化等に関する市民講座や、地域の農家と連携した地元産野菜の朝市を開催する。
帯広市	帯広電信通り商店街振興組合(事業実施時期の変更認定)	4年	帯広市の住宅地に位置し、街区内の高齢者居住は多い。高齢者や障がい者との協働・共生の取組を行っており、管内の地域商店街活性化法認定の第一号商店街	1個でも気軽に買える生鮮食料品店舗、御用聞き店舗	空き店舗をバリアフリー化し、高齢者や障がいのある方と協働で「生鮮品直売」「御用聞き」等を実施する。また、次の世代の担い手を育成するため、地域の大学と共同で「独自商品」を開発・販売し学生が就労体験できる場を整備する。さらに、「市民参加型の園芸イベント」等を毎年継続的に実施する。